

1日も早い災害廃棄物処理を目指します



フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤JV

ふと隣を見れば・・・

4月25日より焼却を開始し、5ヶ月が経過しました。そんな月日が経過し、焼却炉の足場より海側を見れば、仮堤防が築堤され、護岸工事が着々と進んでいます。焼却炉の方も、現在焼却量で40%を超え、着々と処理業務が進んでいます。



山下さん出産のため休職



JV事務員の山下美香さんが出産のため、9月末で休職になりました。
11月には山元町に新しい町民が誕生します。

Q: 今年の夏は暑い日が続いたのですが、地球温暖化対策は実施していますか？

A: 木くずを原料とするバイオマスガス化発電施設を設置して一般家庭30軒分の電力を発電し、焼却炉等で使用しています。これにより焼却炉用発電機の重油消費量を抑えてCO2ガス発生低減を図っています。
また、事務所・現場照明に消費電力の少ないLED照明を使用、さらに太陽光発電パネルを事務所屋根に設置し、電力消費を削減しています。建設機械も低燃費型を使用し、省燃費運転での作業を行っています。

山元JV

太田代主任技術者
よりひとこと



山元JVの構成会社東亜建設工業株の太田代(おたしろ)です。

私の地元、岩手県大船渡市も山元町と同様に、震災により市中心部は壊滅状態です。

同じ被災地として一日も早い復興を目指して、お互いに頑張りましょう!!

処分量(9月20日現在)

	設計処理量(t)	累計処理量(t)	進捗率(%)	備考	
焼却量	80,000	34,013	43%	燃え殻: 12,385t、ばいじん: 957t	
搬入量	木くず	201,000	36,399	18%	
	混合ごみ	212,000	13,865	7%	
	コンクリートくず	85,000	71,570	84%	
	津波堆積物	598,600	101,556	17%	かさ比重は1.46t/m ³ とした
搬出量	コンクリート再生骨材	81,000	66,641	82%	
	津波堆積物処理土砂	598,600	99,759	17%	新浜の仮置場への搬出量

10月の業務予定

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
【破砕選別工】					
災害廃棄物	運搬、破砕				
津波堆積物	運搬、選別				
焼却灰固体化不溶化処理	固体化・不溶化				
【搬出工】					
津波堆積土砂	新浜仮置場へ搬出				
コンクリートがら	新浜仮置場へ搬出				
【焼却工】					
キルン炉・ストーカ炉	焼却				
バイオマス発電設備	発電				

焼却灰の放射能濃度

主灰	500Bq/kg	測定日
飛灰	2,360Bq/kg	9月11日

二次仮置場の空間線量(μSv/h)
9月20日測定

事務所前	0.032
木くず	0.040
コンクリートがら	0.046
津波堆積物	0.299
金属くず	0.053
主灰保管テント内	0.114
飛灰保管テント内	0.281

※地上1mの高さ、廃棄物から1mのところ測定しています

お問い合わせは
0223-37-7451
まで

発行: 災害廃棄物処理業務(巨理名取ブロック(山元処理区))
フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体
〒989-2202 宮城県巨理郡山元町高瀬宇浜砂1-4
電話: 0223-37-7451